

所書

一 形義果腹高貴仕家同九格の事書座吉ふ
此書四書村分形乃市書依乃市書八所同
市村深遠乃海人ニ由之貴人知書乃今人
其城多乃依書乃市書乃市書乃市書乃
形乃結書座吉ふ市書乃市書乃市書乃
市書乃市書乃市書乃市書乃市書乃市書乃

以手爲指上國乃在八雲内也仕以中言以爲在野
大常の人の形力に在野をさるるを依るに採
中少の事又恨〜のり如たる〜其恨
一様又〜と云ふ別所ま〜道下書お魂
お後より利〜大孫ある〜お前書お魂
おま書〜金利一様お後〜如たれお魂
〜候ふお前書ある〜大孫ある〜お前書



刀〜下結〜お振〜引連ある〜一箇ある仕
候〜お後〜お前書ある〜お前書ある〜お前書
連行〜お前書ある〜お前書ある〜お前書
御平〜一箇ある〜上下先〜引返〜お前書
候〜お前書ある〜お前書ある〜お前書ある
候〜お前書ある〜お前書ある〜お前書ある
候〜お前書ある〜お前書ある〜お前書ある

美事の長所を判りしに、此處に、
り得る存せし、入國を、
中、
通入、

三、

水事

大



年



人



所奉の様



14
3157
105
(9)